

学校教育学部 社会系コースの案内



社会系コースとはどんなところ？

兵庫教育大学は教員養成を目的とした大学です。
皆さんも教師になること夢みて、本学へ入学されたことでしょう。

これからの大学生活に思いを馳せてみると、将来への大きな希望はもちろんのこと、一抹の不安も感じるのではないのでしょうか？



とくに就職のことを思うと・・・・・・・・

●そこで《学生に優しい社会系》です。

希望と不安を抱えた皆さんを応援すべく、私たち社会系教員が胸に秘めた信念です。皆さんの夢の実現に向けて、精一杯のサポートを約束します。

●その特徴とは？

① 教員採用試験など就職活動への支援

コース内での模擬試験の実施、試験対策のための問題集の提供、面接試験の対策など、社会系の教員と学生は一体となって就職活動に取り組みます。

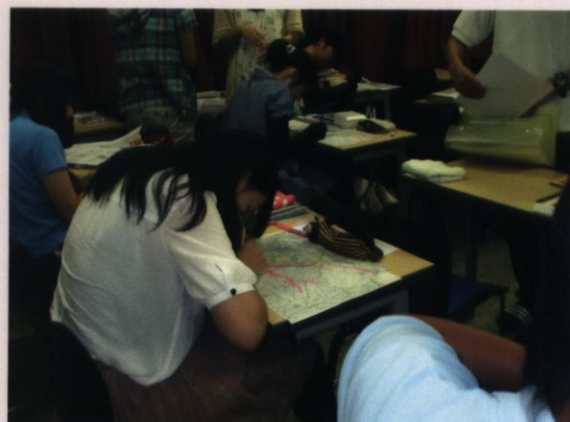
③ 学生自習室の提供

教育言語社会棟の601号室と603号室は社会系の学生のために提供する「学生自習室」です。空調の効いたこの自習室で教員採用試験の勉強や卒業研究論文の作成ができます。また、クラスメートとの交流の場に生まれ、インターネットの使用もできる、24時間利用できるオープンルームです。



② 社会系独自の年間行事

- 【4月】 クラス写真撮影
 - 【4月】 就職活動激励会
 - 【5月】 新入生歓迎会
 - 【10月】 就職活動報告会
 - 【2月】 教員と学生の意見交換会
- など、これら行事はみな、社会系コース独自のものです。



卒業生の声

■伊藤友佑さん(第22期生・近畿大学附属小学校教員)

社会系と聞いて、「難しそうだなあ。」「堅苦しくて、真面目そうだなあ。」「高校生時代に地理とか政治経済とか全然学習していないもんなあ。」と思う人も少なくないと思います。もちろん社会系は、社会科科目(地理・日本史・世界史・政治・経済・倫理・哲学など)の専門的な知識や理解を深めていくところです。私たちははじめは、多くの科目に不安を感じていました。他コースより授業数が多く、時間に追われる時もありました。しかし今は、どの科目においても知識や理解を深めることができ、教員採用試験には社会科内容の割合が多いので負荷なく受験勉強ができました。

社会系の先生方はとても優しく、学生を第一に考えてくださり、大学生生活をよりよく過ごせるよう工夫をされています。レポート提出日の配慮や、教員になった時に活かせる授業内容の考案、教員採用試験に向けての受験対策など数え切れません。社会系学生は先生との交流も多く、学生同士でも旅行や飲み会などなど明るく楽しく過ごし、他のコースに見られないほど仲がいいです。

いろいろな学習ができ、大学生生活を楽しく有意義に過ごせるのは社会系の特権です。充実した大学生生活を送るためにも、ぜひ社会系をオススメします。

■平野智子さん(第23期生・兵庫県小学校教員)

社会系は、学生1人ひとりを大切にしてくれるコースです。学生のことを第一に考え、よりよい大学生活を送れるように環境を整えてくださいました。入学した時から卒業するまで、段階に応じて必要な力が身につくように指導していただきました。知識だけでなく将来、教壇に立つために必要な授業づくりや授業方法などを基礎からしっかり教えていただきました。

社会系は実践的な授業が多く、自分たちで授業案をつくり実践してみたり、1つのテーマについて議論したりするなど、考えることを大切にしています。社会系の授業は、教員採用試験にも活かすことができると思います。教員採用試験では、基礎知識だけでなく自分の考えを表現する力、授業の仕方なども評価されます。社会系で学ぶことで、その力が身につく採用試験、その先の教師生活でも活かせるのではないのでしょうか。

社会系は、みんなで旅行に行ったり、大学祭で模擬店を聞いたりするほど仲がよく、結束力が強いんです。それは、中学校、高等学校(地理歴史・公民)の免許をとる学生がほとんどで、授業数も多く、一緒に過ごす時間が長いからだと思います。授業でのグループ学習や定期試験・教員採用試験、卒業論文などみんなで助け合い協力しながら一緒に乗り越えてきました。同学年の横のつながりだけでなく、先輩・後輩の縦のつながりの強く、先輩方からもたくさんのことを教えてもらえます。

楽しい時も辛い時も一緒に乗り越えてきた仲間、いつも支えてくださった先生方のおかげで、今の自分が存在していると思います。

社会系コースで学んだ4年間は、私にとって大切な宝物です。兵庫教育大学に入学された皆さんには、ぜひ社会系コースでたくさんさんの財産をつくってほしいと思います。

■松浦良介さん(第26期生・兵庫県小学校教員)

何より社会系コースで良かったと思うことは、学生と教員との距離が近いことです。社会系コースの学生のほとんどが中学校・高校の教員免許を取得するため、他コースと比べて講義数が多いです。しかし全く苦ではありません!なぜか。それは、「おもしろい」から。その一言です。一緒にレポートを作成したり、議論したりしてとても内容の濃い講義を受けることができました。先生方も時には厳しく、時には優しく接してくださいました。

社会系コースには様々な分野があり、先生方は非常に個性豊かです。3、4回生のゼミでは自分の興味のある分野を研究して、深めることができます。一つのことを深く深く追究するという経験は、教師になって授業づくりや生徒指導など様々な課題に取り組む上で非常に生きてきます。

また社会系コースは教員採用試験(教採)対策にも真剣に取り組んでいます。まずは3回生での「就職活動報告会」です。先輩方からアドバイスが聞けて、質疑応答も自由にできるアットホームな雰囲気行事です。次に4回生での「就職活動激励会」です。教採直前に開かれる行事で、先生方から激励の言葉をいただきます。食べたりお酒を飲んだりするので試験前のピリピリ感が和むとても楽しいひと時を過ごせます。おかげで、順調に対策ができ、落ち着いて教採を受けることができました。

そして最後に紹介するのが「社会系学生自習室」です。ここは社会系の先生方が、社会系の学生が夢を叶えるために用意してくださった部屋です。仲間とともに勉強に励んだり、息抜きをしたりして、切磋琢磨しながら教採に向けて頑張りました。

このように社会系コースは自分を高めることができる最高のコースです。兵庫教育大学へ入学されるみなさん!ぜひ社会系コースに入ってください。とても濃い4年間が待っていますよ。

幅広い専門領域

社会系コースは、歴史・地理・公民・教科教育の4つの分野に分かれ、指導教員は合わせて14名です。その専門領域は、教育学部のほか、文学部・法学部・経済学部・社会学部などいくつもの学部にわたるほど幅広いものです。

したがって、学生にとっては、研究テーマの選択肢がきわめて多いということになります。



指導教員

■歴史分野

河村 昭一（日本史）
原田 誠司（日本史）
松田 吉郎（東洋史）

■地理分野

吉本 剛典（人文地理）
南埜 猛（地誌学）

■公民分野

坂口 一成（法律学）
難波 安彦（経済学）
首藤 明和（社会学）
森 秀樹（哲学）

■教科教育分野

原田 智仁（社会科教育）
米田 豊（社会科教育）
關 浩和（社会科教育）
吉水 裕也（社会科教育）
児玉 康弘（社会科教育）

お問い合わせ

兵庫教育大学社会系コース

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

Phone & Fax : 0795-44-2160

e-mail : namba@hyogo-u.ac.jp